

# 鴻巣市橋梁長寿命化修繕計画

計画期間:令和 7 年度～令和 16 年度

令和7年2月

## ◆背景・目的について

### ■背景

我が国には道路インフラとして橋梁が全国に約 73 万橋存在し、このうち 7 割以上となる約 51 万橋は市町村道にあり、大部分は地方公共団体が管理しています。

高度経済成長期以降に集中的に整備された橋梁が今後急速に高齢化し、2033 年には建設後 50 年が経過した橋梁が全体の約 6 割になると見込まれており、今後これらに対する維持・修繕・架替え等に多くの費用が必要になることが懸念されています。

鴻巣市においても橋梁の維持管理に多くの費用が必要になることが予測されており、維持管理費の縮減を目指した合理的な維持管理の実現が求められています。

このような状況の中、国が定める統一的な基準で 5 年に 1 度、近接目視による定期点検を平成 26 年度～平成 30 年度(1 巡目定期点検)まで実施し、その結果を踏まえた橋梁長寿命化修繕計画を策定し、今日まで効率的な維持管理を図ってきました。今後も引き続き効率的な維持管理の継続のため、令和元年度～令和 5 年度(2 巡目定期点検)までに実施した結果を踏まえ、修繕計画の更新を実施しました。

表-1 修繕計画対象橋梁数

	1 級市道	2 級市道	その他市道	合 計
管理橋梁(橋長 2m以上)	46 橋	35 橋	412 橋	493 橋
令和元年度計画策定橋梁数	46 橋	35 橋	412 橋	493 橋
令和 6 年度計画策定橋梁数	46 橋	35 橋	412 橋	493 橋

### ■目的

修繕計画の対象橋梁 493 橋について、2024 年時点で供用後 50 年を超える高齢化橋梁は 138 橋(28%)と多く存在します。10 年経過すると 155 橋(31%)に増加します。高齢化に伴う老朽化が進行し、維持管理費用の増大が予想されます。

このことから、計画的かつ予防的な修繕を行う「予防保全型」の対応を継続して行うことで、橋梁を長持ちさせ、安全性の確保と維持管理費用の縮減を目的とした修繕計画の更新を実施します。

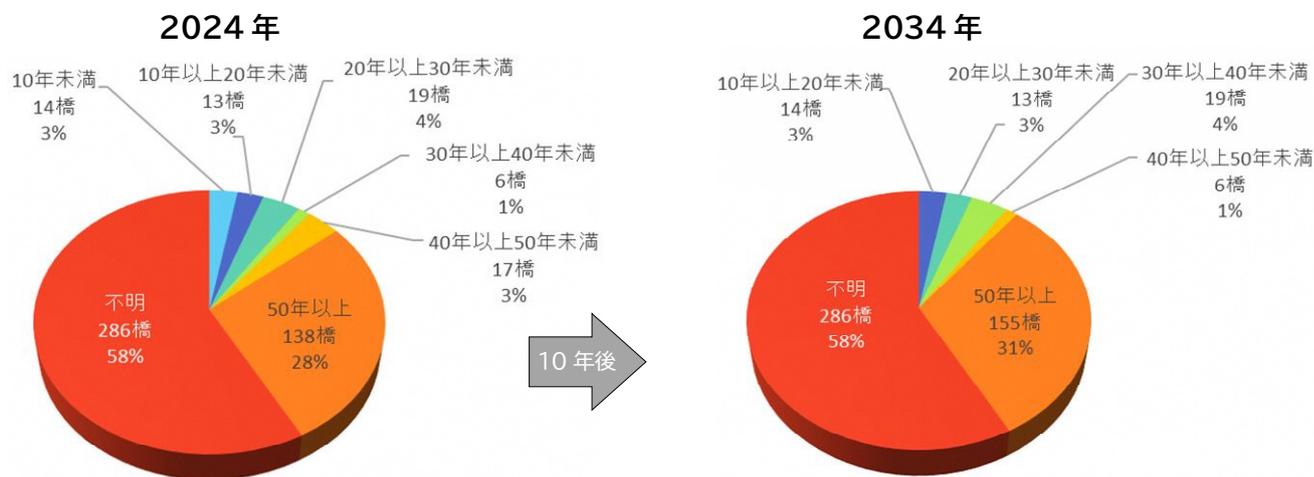


図-1 供用年数別の橋梁数の推移

## ◆長寿命化修繕計画の実施状況について

令和元年度から実施している修繕計画の実施状況について以下に示します。

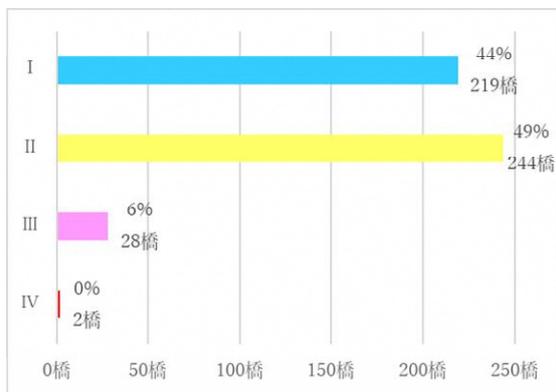


表-2 各健全性の評価と対策内容

健全性の評価	対策内容	橋梁数
I 健全	補修は必要	219橋
II 予防保全段階	状況に応じて補修が必要	244橋
III 早期措置段階	早期の対策が必要	28橋
IV 緊急措置段階	緊急な対策が必要	2橋
合計		493橋

図-2 点検結果による健全性の分類

## ◆修繕事例



## ◆老朽化対策における基本方針について

損傷が顕在化する前に小さな損傷が発見された段階で早めに補修を行う『予防保全型』の維持管理を基本とし、橋梁の安全性の確保や老朽化対策に掛かる費用の縮減を図ります。

定期点検によって診断した健全性と橋梁の利用状況や橋梁下の交差物などの橋梁が持つ重要性を加味したうえで優先度を総合的に検討し、事業計画の立案を行っていきます。

さらに、維持管理の効率化や高度化を図るために、新技術の活用、集約・撤去を踏まえた橋梁管理のマネジメントサイクル(PCDAサイクル)によって継続的に事業を進めていきます。



図-3 橋梁管理のマネジメントサイクルの流れ

## ◆集約・撤去の方針について

橋梁の利用状況や周辺道路の整備状況等を鑑み、管理橋梁の集約・撤去について検討し、今後 10 年間で5橋の集約・撤去を行うことを目標とします。

## ◆新技術等の活用方針について

今後の定期点検・調査では、管理橋梁に対して「点検支援技術性能カタログ」等における新技術の活用を継続的に実施し、積極的な採用を行うことでコスト縮減を目指します。

また、修繕工事等の実施においては、「NETIS(新技術情報提供システム)」における新工法や新材料の活用を検討し、事業の効率化やコスト縮減を目指します。

## ◆費用の縮減に関する具体的な方針について

今後10年間で5橋の集約・撤去を実施し、維持管理費約130万円のコスト縮減を目標とし、修繕工事においては新工法や新材料を活用し、修繕費約2500万円のコスト縮減を目標とします。

## ◆今後の管理方針について

日常管理としてパトロールと清掃などの維持作業を実施し、損傷状況の確認、異常等の早期発見を行っています。5年毎に「道路橋定期点検要領」に従った定期点検を実施し、橋梁の損傷状況および健全性を継続的に把握していきます。

定期的に橋梁長寿命化修繕計画の見直しを実施し、コスト縮減に向けた橋梁の集約・撤去、新技術の活用などの継続した取り組みを行っています。

## ◆今後 10 年間で予定している事業計画

前述の各方針に基づき立案した今後 10 年間で予定している事業は以下の通りです。

表-3 工事実施予定橋梁(今後 10 年間)

番号	橋梁名	路線名	橋長 (m)	全幅員 (m)	架設 年次	供用 年数	最新 点検 年次	定期点検及び工事時期(今後10年間)								備考		
								R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031	R14 2032		R15 2033	R16 2034
1	無名橋-J3	J-17号線	2.0	4.5	1970	54	2021	●	○					○				
2	郷地橋	I-155号線	25.8	4.2	1972	52	2019	◇	●			○						○
3	2249号線1号橋	川2249号線	8.5	1.7	不明	不明	2022		◇	●	○			○				
4	赤見橋	A-1019号線	46.9	22.8	1978	46	2020	○		◇	●		○					
5	2272号線1号橋	川2272号線	6.3	2.0	不明	不明	2022			○	◇	●		○				
6	上会下橋	川3145号線	10.0	2.9	1935	89	2019				◇	○	●					○
7	2161号線1号橋	川3179号線	9.8	2.1	不明	不明	2022			○			◇	●	○			
8	無名橋-L19	L-546号線	11.6	3.0	1962	62	2020	○					○	◇	●			
9	3147号線2号橋	川3147号線	10.0	2.8	1935	89	2019					○		◇	●			○
10	無名橋-J24	J-84号線	5.4	5.9	不明	不明	2023				○			◇	●	○		
11	無名橋-H8	H-41号線	2.0	4.4	1970	54	2021			○				○		◇		●
12	無名橋-H10	H-42号線	2.0	4.3	1970	54	2021			○				○		◇		●
13	無名橋-J31	J-103号線	3.0	2.8	不明	不明	2023				○					○	◇	
14	無名橋-I37	I-177号線	3.4	4.5	不明	不明	2023			○						○	◇	

※本一覧は今後10年間で工事を予定している橋梁を示している。  
一覧に記載のない管理橋梁についても点検計画に基づき、定期点検を実施する。

◇ 設計時期  
● 工事時期  
○ 点検時期

## ◆長寿命化修繕計画に関する問合せ先



鴻巣市 都市建設部 道路課  
〒365-8601 埼玉県鴻巣市中央1-1  
TEL:048-541-1321(代表)  
FAX:048-577-8463